

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-304230

(43)Date of publication of application : 01.11.1994

(51)Int.Cl.

A61J 3/00

(21)Application number : 05-096054

(71)Applicant : SANYO ELECTRIC CO LTD

(22)Date of filing : 22.04.1993

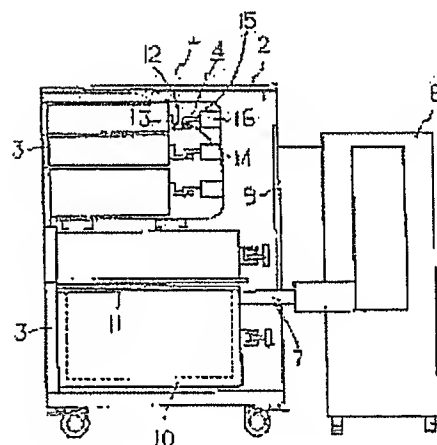
(72)Inventor : TAKAHASHI HIDEYUKI

(54) MEDICINE ADMINISTRATING CABINET

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a medicine administrating cabinet which has a plurality of drawer bodies disposed in a cabinet body and receives mixedly medicines needing cooling and medicines needing no cooling.

CONSTITUTION: A medicine administrating cabinet 1 is composed of a cabinet body 2, a plurality of drawer bodies 3 disposed in the cabinet body to receive medicines, ← lock devices 4 attached to these drawer bodies respectively and control means for unlocking these lock devices on the basis of the information of patients, medicines, etc. The cabinet body 2 is provided with an independent cooling unit 6 for cooling the inside of the lower drawer body 3 of a plurality of drawer bodies 3.



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-304230

(43)公開日 平成6年(1994)11月1日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 1 J 3/00

識別記号

3 0 0 Z

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平5-96054

(22)出願日 平成5年(1993)4月22日

(71)出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72)発明者 高橋 秀幸

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋
電機株式会社内

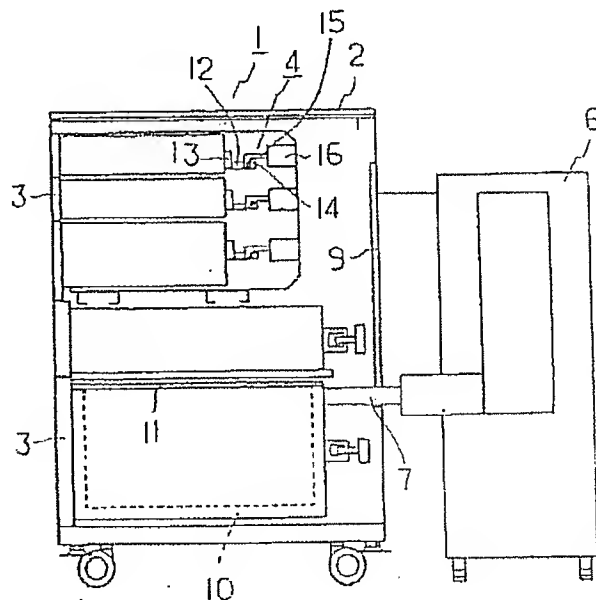
(74)代理人 弁理士 西野 卓嗣

(54)【発明の名称】 薬品管理庫

(57)【要約】

【目的】 キャビネット本体2内に複数の引出体3を配置した薬品管理庫1に冷却を必要とする薬品と冷却を必要としない薬品とを混在して収納する。

【構成】 薬品管理庫1はキャビネット本体2と、この本体2内に配置されて薬品を収納する複数の引出体3と、これらの引出体のそれぞれに設けられたロック装置4と、これらのロック装置を患者や薬品等の情報に基づいて解錠する制御手段とで構成されている。キャビネット本体2には複数の引出体3のうちの下方の引出体3内を冷却する冷却ユニット6が独立して設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 キャビネット本体と、この本体内に配置されて薬品を収納する複数の引出体と、これらの引出体のそれぞれに設けられたロック装置と、これらのロック装置を患者や薬品等の情報に基づいて解錠する制御手段とを備えた薬品管理庫において、前記キャビネット本体には複数の引出体のうちの下方の引出体内を冷却する冷却ユニットが独立して設けられていることを特徴とする薬品管理庫。

【請求項2】 キャビネット本体と、この本体内に配置されて薬品を収納する複数の引出体と、これらの引出体のそれぞれに設けられたロック装置と、これらのロック装置を患者や薬品等の情報に基づいて解錠する制御手段とを備えた薬品管理庫において、前記キャビネット本体には複数の引出体のうちの下方の引出体内を冷却する冷却ユニットが内蔵され、かつ、この冷却ユニットと引出体とがキャビネット本体に設けた通路で連通されていることを特徴とする薬品管理庫。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は病院、薬局及びナースステーション等に置かれる薬品管理庫に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来一般に、病院、薬局及びナースステーション等に置かれる薬品は、劇薬や麻薬等の厳重な管理を必要とするものがあり、そのため、劇薬や麻薬等の薬品は旋錠された保管庫に収納されて管理されている。

【0003】 しかし、劇薬や麻薬等の薬品は、特に厳重に管理を必要とするにも拘らず、取扱者の管理だけに頼っているため、取扱者の台帳への記入忘れや記入ミス、錠の掛け忘れ等があると紛失や盗難等の危険があった。

【0004】 一方、この問題を解決するものとして、実開昭62-32168号公報に開示されているように、下面にキャスターを有するケース本体と、この本体内に引出し可能に収容され、内部に複数の薬品を収納したトレイと、このトレイ内の薬品の有無をチェックするチェック装置と、このチェック装置でチェックされた内容を入力してケース本体内の在庫を確認するディスプレイ装置とを備え、在庫チェックを自動的に行えるようにしたワゴン式の薬品保管庫が提案されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来のワゴン式の薬品保管庫は各トレイから取り出された薬品の種類や個数をチェックするだけであって、所望とする薬品を取り出す場合には、取扱者が該当するトレイを捜して引出して取り出していた。また、薬品保管庫は各トレイ内が常温になっており、保冷を必要とする薬品の場合には別個に冷蔵庫を薬品保管庫の横に設置しなければならない問題があった。

【0006】 この発明は上記の問題を解決するもので、

低温で保管する薬品と常温で保管する薬品とを同一の薬品管理庫に保管して管理できるようにすることを目的としたものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 この発明はキャビネット本体と、この本体内に配置されて薬品を収納する複数の引出体と、これらの引出体のそれぞれに設けられたロック装置と、これらのロック装置を患者や薬品等の情報に基づいて解錠する制御手段とを備えた薬品管理庫において、前記キャビネット本体に複数の引出体のうちの下方の引出体内を冷却する冷却ユニットを独立して設けたものである。

【0008】 また、この発明はキャビネット本体と、この本体内に配置されて薬品を収納する複数の引出体と、これらの引出体のそれぞれに設けられたロック装置と、これらのロック装置を患者や薬品等の情報に基づいて解錠する制御手段とを備えた薬品管理庫において、前記キャビネット本体に複数の引出体のうちの下方の引出体内を冷却する冷却ユニットを内蔵し、かつ、この冷却ユニットと引出体とをキャビネット本体に設けた通路で連通したものである。

【0009】

【作用】 この発明は上記のように構成したことにより、制御手段によって解錠される複数の引出体のうち、下方に位置する引出体内をキャビネット本体と独立した冷却ユニットで冷却し、常温で保存する薬品と低温で保存する薬品とを同一のキャビネット本体に収納できるようにするとともに、低温の保存が必要でない場合には冷却ユニットをキャビネット本体から取り外せるようにしたものである。

【0010】 この発明は制御手段によって解錠される複数の引出体のうち、下方に位置する引出体内をキャビネット本体に内蔵された冷却ユニットで冷却し、常温で保存する薬品と低温で保存する薬品とを同一のキャビネット本体に収納できるようにするとともに、前記キャビネット本体に設けた通路によって冷却ユニットからキャビネット本体内の必要な引出体内に冷気を供給できるようにしたものである。

【0011】

【実施例】 以下この発明を図に示す実施例に基づいて説明する。

【0012】 図1はこの発明の一実施例を示す薬品管理庫の正面図である。図2はこの発明の薬品管理庫を示す側面断面図である。図3はこの発明の薬品管理庫を示す平面図である。図4はこの発明の薬品管理庫を示す後面図である。

【0013】 1は薬品管理庫で、この薬品管理庫はキャビネット本体2と、この本体内に配置されて薬品を収納する上下左右に配置された複数の引出体3と、これらの引出体の後端にそれぞれ設けられたロック装置4と、こ

これらのロック装置をホストコンピュータや制御機器等の患者データや薬品データに基づいて必要な薬品を収納している引出体3の解錠を行う制御手段5とで構成されている。

【0014】6は冷却ユニットで、この冷却ユニットはキャビネット本体2の後端面に冷氣引出体3内に供給する排出ダクト7と引出体3内の空気を冷却ユニットに戻す回収ダクト8とを介して接続されている。この排出ダクトと回収ダクトとは最下段の引出体3内に連通している。排出ダクト7と回収ダクト8とはキャビネット本体2の後端面に設けられた専用パネル9に取り付けられている。この専用パネルは冷却ユニット6を取り付けられない場合には最下段の引出体3内とキャビネット本体2外とを遮断するパネル（図示せず）に交換される。最下段の引出体3は断熱材10で形成され、かつ、上面開口を断熱材11で覆っている。

【0015】ロック装置4は鉤部となる孔12を有しそれぞれの引出体3の後端に設けられた突出片13と、この突出片の孔12に引っ掛ける爪部14を有するラッチ15と、このラッチを制御手段5によって作動させる作動装置16とで構成されている。

【0016】このように構成された薬品管理庫において、病院、薬局、ナースステーション等に配置された薬品管理庫1の複数の引出体3にはそれぞれ患者や薬剤種等に区分された薬品などが収納されている。薬品管理庫1は各引出体3にそれぞれロック装置4が設けられ、このロック装置はパスワードやICカード等の個別識別手段により使用者を個別識別してから制御手段5で解錠されている。また、この制御手段は引出体3から取り出された薬品の種類や数量を管理し、かつ、紛失や盗難等も含めて管理している。

【0017】薬品管理庫1は一部の引出体3を冷却ユニット6で冷却することにより、薬品によっては冷却を必要とするものと、冷却を必要としないものとを混在して保管できるようにしている。しかも、冷却される引出体3は最下段に配置するとともに、断熱材10や開口を覆う断熱材11で断熱することにより、冷却ユニット6で冷やされた冷氣が上方の引出体3に流れたり、熱伝導したりして無駄な冷却が行われないようにしている。

【0018】また、冷却ユニット6は薬品管理庫1のキャビネット本体2と排出ダクト7及び回収ダクト8を介して独立して設けることにより、引出体3に収納する薬品の種類によって冷却を必要としない場合にはキャビネット本体2から切り離して別保管し、薬品管理庫1の設置スペースを小さくさせるようにしている。

【0019】尚、上記の説明においては、キャビネット本体2と冷却ユニット6とを独立して配置するように説明したが、図5のように薬品管理庫20のキャビネット本体21の内部に冷却ユニット22を内蔵した場合には

設置スペースを最初から小さくできるとともに、各引出体23にそれぞれ冷氣の排出通路24と回収通路25とを設けて置けば、必要に応じて各引出体23内を冷却できるという効果を有する。

【0020】

【発明の効果】以上のようにこの発明によれば、キャビネット本体と、この本体内に配置されて薬品を収納する複数の引出体と、これらの引出体のそれぞれに設けられたロック装置と、これらのロック装置を患者や薬品等の情報に基づいて解錠する制御手段とを備えた薬品管理庫において、前記キャビネット本体に複数の引出体のうちの下方の引出体内を冷却する冷却ユニットを独立して設けたので、前記キャビネット本体内に冷却を必要とする薬品や冷却を必要としない薬品等を混在させて収納することができるとともに、冷却を必要としない薬品だけを収納する場合には冷却ユニットをキャビネット本体から切り離し薬品管理庫の設置スペースを小さくできる。

【0021】また、この発明はキャビネット本体と、この本体内に配置されて薬品を収納する複数の引出体と、これらの引出体のそれぞれに設けられたロック装置と、これらのロック装置を患者や薬品等の情報に基づいて解錠する制御手段とを備えた薬品管理庫において、前記キャビネット本体に複数の引出体のうちの下方の引出体内を冷却する冷却ユニットを内蔵し、かつ、この冷却ユニットと引出体とをキャビネット本体に設けた通路で連通したので、冷却を必要とする薬品と冷却を必要としない薬品とを混在して収納することができ、かつ、予めキャビネット本体内に設けた通路で冷却ユニットから冷氣を冷却の必要な引出体内に供給することができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例を示す薬品管理庫の正面図である。

【図2】この発明の薬品管理庫を示す側面断面図である。

【図3】この発明の薬品管理庫を示す平面図である。

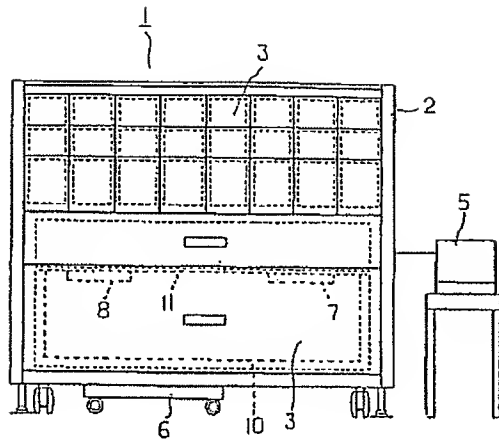
【図4】この発明の薬品管理庫を示す後面図である。

【図5】この発明の他の実施例を示す薬品管理庫の正面図である。

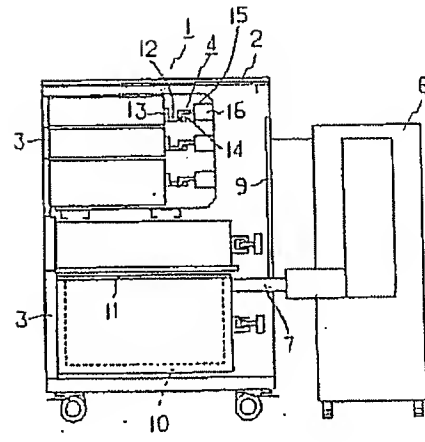
【符号の説明】

- 1、20 薬品管理庫
- 2、21 キャビネット本体
- 3、23 引出体
- 4 ロック装置
- 5 制御手段
- 6、22 冷却ユニット
- 24 排出通路
- 25 回収通路

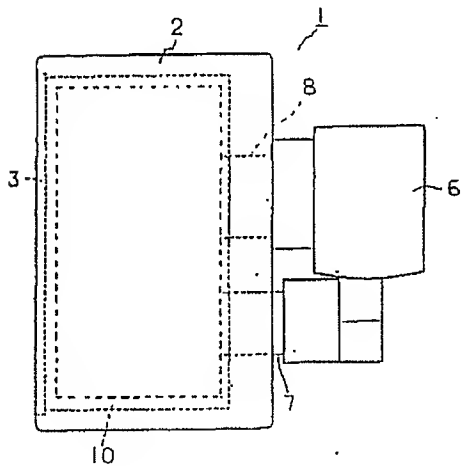
【図1】



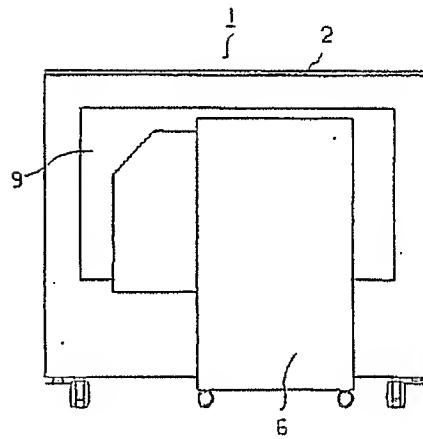
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

